

心はずむ 春の川風景

国土交通省 木曽川上流河川事務所 揖斐川第二出張所

〒503-0813 大垣市三本木2-651-1 TEL 0584-81-1034

■桜並木でつなぐ『千本夢桜』 杭瀬川で植樹イベント開催!【大垣市】

- 大垣市内一円を桜並木でつなぐ四季の回廊「千本夢桜」事業の一環として、新生児の誕生を記念した植樹イベントが、3月1日(土)から2日(日)の2日間にわたり、杭瀬川堤防(大垣市南若森町)で開催され、揖斐川第二出張所も参加させていただきました。

この植樹イベントは、大垣市が4年前より行っているものです。当日は、小川大垣市長をはじめ、地元自治会長らが出席。小川市長は、「千本夢桜」事業とは、総延長約50Km、1万本に及ぶ桜回廊を整備する壮大なもの。是非、お子様の成長と共に、大垣市の将来の潤いある景観と一緒に育んでいただけたら嬉しい」と挨拶。昨年1月1日以降に誕生し、申し込みのあった新生児と保護者120組が参加し、桜の苗木を植樹し、記念撮影が行われました。



関係者による記念植樹(写真右より、小川大垣市長、川瀬南杭瀬連合自治会長、細野揖斐川第二出張所長)



記念植樹に訪れた家族と、会場横の水面で仲睦まじく泳ぎ回るカモ



■墨俣一夜城と犀川堤防の桜

- 豊臣秀吉が一夜にして築城したという逸話から、別名を「一夜城」とも呼ばれている墨俣城。小春日和に恵まれた4月5日(土)、一夜城の周りを囲むようにソメイヨシノが綺麗に咲き誇り満開でした。また、すぐ横を流れる犀川堤防には、約1,000本の桜が2キロメートルにわたって桜トンネルを作り、大勢の花見客で賑わっていました。



墨俣一夜城と犀川堤防(大垣市墨俣町)

■春の香り漂う、『菜の花と土筆採り』

- 春の穏やかな陽気に恵まれた3月22日(土)、揖斐川堤防では、家族連れや老夫婦など、多くの人が土筆採りに訪れ、とても微笑ましい風景を見ることができました。斜面を踏ん張って、中腰でじっと睨むほどに探している様子は、皆、真剣そのものです。ある種、人間とつくしの格闘とも言えます。そこが、この土筆採りの面白みかも知れませんね。



大垣市万石地先

- 「母なる川」揖斐川は、季節毎、場所ごとに様々な表情を見せながら悠々と流れています。菜の花の咲く春は特に表情が豊かで、揖斐川の河川敷を車で走りますと、所々に黄色いじゅうたんを敷き詰めたような風景に出くわします。河川工事を終え、一段落した現場の傍らで、待ちわびたかのように一斉に黄色の花を咲かせ、目に眩しいほど、ドライバーの目を和ませてくれています。



福東大橋と菜の花風景(輪之内町塩喰地先)

『福束排水機場ポンプ増設工事』完成式
～内水被害の軽減に向けて～【輪之内町】



木野 輪之内町長



ポンプ起動により福束排水機場からの強制排水開始！

木曾川上流河川事務所が進めてきました、福束排水機場（養老町大巻）のポンプ増設工事が完了し、3月15日（土）、完成式を開催しました。今回のポンプ増設により、従来の約1.5倍（毎秒約18立法メートル→毎秒26立法メートル）に排水量を引き上げました。

木野輪之内町長は、「低湿地帯の輪之内町に住む住民は水の恵みの恩恵と同時に、水害による水の恐ろしさも知っている。今後は、総合内水対策計画で定めた施策について、自治体の役割の中で、責任を持って着実に進めていくことが、地域の安全・安心を守る上で大切だと考えている」と挨拶をされました。



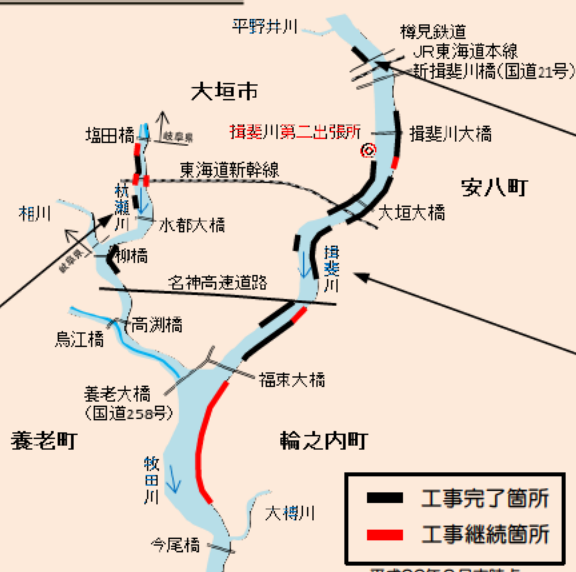
増設ポンプの起動ボタンを押し、工事の完成を祝う関係者

■水害から地域を守る河川堤防の整備進む！

昨年10月以降、約半年間にわたって、損斐川及び杭瀬川堤防約13Km区間の改修工事を進めてきましたが、本年3月末までに約9Km区間が完成しました。残る区間についても、4月以降、引き続き工事を進めさせていただきますので、工事に対するご理解とご協力のほど、宜しくお願い致します。



大垣市綾里地先



大垣市津村地先



安八町牧地先

『東海・東南海地震（震度6強）発生！』
～大規模総合防災訓練を開催～【安八町】



堀 安八町長



国土交通省保有の排水ポンプ車



排水ポンプ車による実働訓練状況（名森小学校プール）

安八町は、3月16日（日）、大規模地震を想定した総合防災訓練を開催。木曾川上流河川事務所も初参加し、照明車や排水ポンプ車による実働訓練で協力をさせていただきました。

堀安八町長は、「一般的に災害発生から救助の到達まで3日間を要すると言われている。そのため、自分の命は自分で守る、自分たちの地域は自分たちで守る「自助」「共助」が災害発生直後は最も重要視される。さらに、行政機関や消防団等による「公助」を加えた相互連携により、共同体制を確立していく必要がある。

来年度も、このような訓練を積み重ねていくことを予定しており、訓練を通じて、是非、災害対策活動等を習得してもらいたい！」と挨拶をされました。